



公共施設の集約による効率化と賑わいの創出 複合施設「エアリスベース」OPEN

太田市 文化スポーツ部 エアリスベース

■ 施設の複合化の背景

昭和40～50年代に建設された公共施設は利用開始から40年以上が経過し、老朽化が著しく維持管理費の増大に加え、建て替えの検討も必要になってきています。太田市が所有する公共施設もこの年代に建てられたものが数多く存在し、今後、これらの施設の改修が同時期に集中することが懸念されるなど多大な費用を要することが予測されています。一方で財政面では、人口減少等による税収の伸び悩みや、少子高齢化社会の進展に伴う扶助費の増加などが懸念されます。

太田市では平成28年度に「太田市公共施設等総合管理計画」を策定し、この計画の中で『施設の統合や廃止を進め、市有施設の総量を市の人口減少に合わせ令和22年度(2040年度)までに10%縮減(平成26年度比)する』という目標を掲げています。

利用開始から40年余りが経過し、老朽化が進んだ新田図書館の建て替えに伴い隣接する保健センター及び近隣の商業施設内に配置されている行政窓口を複合化することにより、公共施設の集約による効率化を図ることとしました。



エアリスベース外観

■ 地域の賑わいの創出

これまでの公共施設は単一的な機能を持つ施設が各地域に点在するように配置されており、その施設利用を目的とした利用者が来訪するだけで、地域の賑わいを創造させるような拠点的作用を担うことができないケースが多くありました。

公共施設の複合化により多様な市民の利用を誘発し、時間・曜日の変化による流動性のある活発な利用状況が期待されます。特に当該施設については周辺にすでに多様な公共施設が整備されているほか、大型商業施設等もあることから、施設相互の交流により今まで以上に魅力ある公共施設として集客効果を高め、持続的な賑わいを生み出すことが可能になります。

■ 施設概要

- 鉄骨造2階建て
- 延べ床面積 約4,000㎡
- 1階 西サービスセンター、
保健センター、
多目的室
(学習席・飲食スペース)
- 2階 図書館
- 屋上 屋上緑化(芝生)



新聞雑誌コーナー



漫画コーナー

新しい図書館の目玉として、漫画本1万5千冊をそろえました。子どもからお年寄りまで幅広い世代の方楽しんでいただけたと思います。

■ おわりに

エアリスベースの竣工記念オープニングイベントが令和7年2月23日に開催されました。式典終了後、屋内外での各種イベント、キッチンカーの出店に加え、昨年6月にオープンした「エアリススケートパーク」においてもデモ滑走やコンテスト等が開催されたため、エアリスベース周辺は多くの人々で賑わいました。

今後も、太田市西地区の文化・スポーツの拠点として賑わいの創出を図っていきたいと考えています。